

法藏館書店ニュース 1月

目次

話題の本 P1
法藏館新刊案内 P2~3
法藏館刊行予定案内 P4~5
法藏館書店新着案内 P5~15

特集1:法藏館書店 2022年下半年売行ベスト20 P16
特集2:法藏館書店 2022年年間売行ベスト20 P17
特集3:『幡谷明講話集』(全7巻)特価予約受付中! P18
お知らせ P19
法藏館書店ベスト10・メール配信サービスご案内 P20

★お知らせ★ 1、2月の書店休業日

1月のお休み: 1~4日・8日・15日・22日・29日

2月のお休み: 5日・12日・19日・26日

『法藏館図書目録』 2023年版ができました!

ご入用の方はお申しつけください。

話題の本

●宗教研究 405号(2022/12/30)

『親鸞—その人間・信仰の魅力』

藤田正勝著・四六判・274頁・3,190円

ISBN: 978-4-8318-3845-2

『岐路に立つ仏教寺院

—曹洞宗宗勢総合調査2015年を中心に』

相澤秀生、川又俊則編著・A5判・324頁・3,300円

ISBN: 978-4-8318-5712-5

●宗教研究 405号(2022/12/30)

●中部経済新聞(2022/11/24)

●奈良新聞・福井新聞(2022/10/26)

●高知新聞(2022/10/21)

『近現代日本とエホバの証人

—その歴史的展開』

山口瑞穂著・四六判・332頁・3,300円

ISBN: 978-4-8318-5724-8

●朝日新聞(2022/12/10)

『宗教の行方—現代のための宗教十二講』

八木誠一著・四六判・382頁・3,520円

ISBN: 978-4-8318-1061-8

●日本歴史(2022/12/1)

『中世真宗の儀礼と空間』

山田 雅教著・A5判・380頁・6,820円

ISBN: 978-4-8318-7924-0

●中日日報(2022/11/18)

『近代仏教教団と戦争

—日清・日露戦争期を中心に』

小林惇道著・A5判・492頁・7,150円

ISBN: 978-4-8318-5568-8

●説話文学研究 第57号(2022/9/30)

■第3回 説話文学会賞

『児灌頂の研究—犯と聖性』

辻 晶子著・A5判・362頁・9,350円

ISBN: 978-4-8318-7733-8

■第1回 説話・伝承学会賞

『寺院内外伝承差の原理

—縁起通史の試みから』

中前正志著・A5判・557頁・4,400円

ISBN: 978-4-8318-7722-2

法蔵館文庫

◆文物に現れた北朝隋唐の仏教

【中国仏教】

礪波 護著・文庫判・416頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2644-2

隋唐時代、政治・社会は仏教に対していかに関わり、仏教はどのように変容したのか。多彩な史料によってスリリングに展開される諸論。

■目次

I

文物に現れた北朝隋唐の仏教

天寿国と重興仏法の菩薩天子と

魏徵撰の李密墓誌銘——石刻と文集との間

ほか

ためし読み



◆近代日本の国家と浄土真宗

【仏教史／近代】

——戦争・ナショナリズム・ジェンダー

福島栄寿著・A5判・294頁・4,180円・ISBN:978-4-8318-5569-5

国民国家形成過程において、仏教はいかに「国民国家の〈宗教〉」たろうとしたか。真宗者・真宗教団が打ち出した言説を分析し、国民国家と仏教の関係を改めて考察。

■目次

第一章 〈近代仏教〉再考

——日本近代仏教史研究と「鎌倉新仏教」論——

第二章 甦る清沢満之

第三章 仏教者の自己認識と内地雑居論

——日本人論・日本文化論の視点を手がかりに——

ほか

ためし読み



◆近代日本の仏教と福祉

【仏教福祉／宗教史】

——公共性と社会倫理の視点から

井川裕寛著・A5判・380頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-5578-7

独自の倫理観による福祉事業を通して、仏教は公共空間の形成にいかに寄与したのか。「国家主義的」とされてきた仏教社会福祉史を「公共宗教」という視点から捉え直す。

■目次

序章 近代日本の福祉をめぐる公共空間と仏教

【第I部 子どもをめぐる社会福祉活動と宗教】

【第II部 セツルメントの発展と浄土宗社会派による
仏教社会福祉活動】

ほか

ためし読み



◆ブラフマニズムとヒンドウイズム 1

【インド／宗教】

——古代・中世インドの社会と思想

藤井正人、手嶋英貴編・A5判・434頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-7761-1

古代・中世に展開した「社会と文化」「王権と宗教」「知識と学問」の諸相から「インド世界の構造」を探る。インド学の最前線。

■目次

はじめに

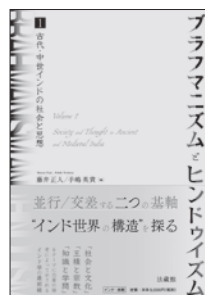
本書の構成

第Ⅰ部 社会と文化

第Ⅱ部 王権と宗教

第Ⅲ部 知識と学問 ほか

ためし読み



◆ブラフマニズムとヒンドウイズム 2

【インド／宗教】

——古代・中世インドの宗教と実践

藤井正人、手嶋英貴編・A5判・476頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-7762-8

古代・中世に展開した「神話と表象」「信仰と儀礼」「出家と修行」の諸相から「インド世界の内的原理」を探る。インド学の最前線。

■目次

はじめに

本書の構成

第Ⅰ部 神話と表象

第Ⅱ部 信仰と儀礼

第Ⅲ部 出家と修行 ほか

ためし読み



◆密教図像 第41号

【仏教／美術】

密教図像学会編・B5判・100頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-0441-9

美術史と密教学を連携させた密教図像学の立場からアジアの宗教美術を考察。密教美術をテーマとした論文集。

■目次

稲葉秀朗「文献史料からみた不空三蔵の肖像制作」

田中公明「東寺講堂立体曼荼羅の意義

——『金光明經』との関係を中心として——

袋井由布子「インド古代初期の仏教美術における羚羊の表現

——シュンガ朝時代の浮彫彫刻を中心に——

中西麻一子「草刈人の布施説話とその図像表現」

吉澤朱里「『真実撰経』一切如来法サマヤ大儀軌王（遍調伏品）のマンダラ」 ほか

密教図像



第41号
密教図像学会

〈2023年2月 刊行予定〉

◆ひとりふたり・・——春彼岸を迎える

四衢 亮著・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1166-0

【仏教／真宗】

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白、参考になる、気軽に読める、と好評です！

◆法力とは何か——「今空海」という衝撃

老松克博著・四六判・256頁・2,640円・ISBN:978-4-8318-5757-6

【仏教／心理学】

桁外れの法力を持つ高僧の協力を得て、ユング派の深層心理学の立場から、その法力の核心を照らし出した尖鋭的な研究の成果。

シリーズ宗教と差別(全4巻) 監修＝磯前順一、吉村智博、浅居明彦

◆第3巻 差別の地域史——渡辺村からみた日本社会

小倉慈司、西宮秀紀、吉田一彦編・A5判・280頁・3,080円

ISBN:978-4-8318-5723-1

【日本史】

江戸時代に西日本の一大皮革集積地となった大坂・渡辺村とはどのような関わりがあるのか。知られざる古代～中世の信仰や生業、近代までの歴史を追った書。

◆読書漫筆

吉川忠夫著・四六判・472頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-7763-5

【中国学／随筆】

長年世に問うてきた解説解題や書評の類のものを、新旧、長短、硬軟とりまぜて選び一書に。中国学を牽引してきた著者の読書の世界。

◆哀話の系譜——うとうやすかた

菊池章太著・四六判・184頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-7764-2

【文学／思想】

謡曲『善知鳥』に多くの人が魅せられたのはなぜか。文芸作品と、この主題を探尋した菅江真澄の足跡をたどり、哀しみの根源にせまる。

◆真言密教事相概論

潮 弘憲著・A5判・512頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-6397-3

【真言宗】

即身成仏を目的とする密教行者にとって、加持修法から日常の行住坐臥に至るすべてが事相である。初学の真言僧向けに、主な法会等を概観する初の書。

◆相国寺史 第二巻——史料編中世二

相国寺史編纂委員会編、原田正俊・伊藤真昭監修・A5判・878頁・9,900円
ISBN: 978-4-8318-5252-6

【日本史／史料】

名利相国寺の歴史を見通す初の寺史。本巻は開山夢窓疎石誕生の建治元年(1275)～文正元年(1466)までの関係史料を収録。

◆POD版 仲野良俊著作集 仲野良俊著・A5判・各8,250円[分売可]

【仏教／真宗】

第7巻 正信念仏偈講義Ⅰ 376頁・ISBN: 978-4-8318-9324-6

第8巻 正信念仏偈講義Ⅱ 402頁・ISBN: 978-4-8318-9325-3

第9巻 正信念仏偈講義Ⅲ 352頁・ISBN: 978-4-8318-9326-0

親鸞浄土教の現代的意義を、大乘仏教の根本思想から明確に解き明かした仲野教学待望の集大成。

POD版は左記のインターネット書店でのみ購入できます。Amazon・三省堂書店オンデマンド・楽天

◆新装版 観経疏に学ぶ 序分義1・序分義2

廣瀬 杲著・四六判・各3,080円[分売可]

①424頁・ISBN: 978-4-8318-6592-2 ②442頁・ISBN: 978-4-8318-6593-9

【仏教／真宗】

浄土思想の原典から現代をみつめる！ 玄義分で明らかになった「観経」の経説がさらに凡夫・韋提希婦人を通して展開され、物語のおもしろさに加えて、人間の赤裸々な欲望をあばく。

◆志 いまだ老いず

川口高風著・四六判・220頁・1,650円・ISBN: 978-4-8318-5725-5

【仏教／エッセイ】

大学教員・住職として生き、自身も老境に入った著者が、さまざまな出遇いを通じて達した境地を綴った好エッセイ集。

法蔵館書店新着案内

◆『大無量寿経』の仏者親鸞

——宗祖の三部経観

延塚知道著・四六判・363頁・2,420円(東本願寺出版)

『大無量寿経』・『観無量寿経』・『阿弥陀経』——。

なぜ浄土真宗はこの浄土三部経に依るのか。

釈尊が目覚めた真実を説く数多の經典の中、ただこの三経に凡夫の救済の道理を見出した親鸞聖人の実践的仏道観に迫る一冊。



◆はじめて読む正信偈

井上尚実著・B6判・216頁・1,210円〈東本願寺出版〉

『同朋新聞』で二年半にわたって連載された「はじめて読む正信偈」が待望の書籍化。「帰命無量寿如来(きみょうむりょうじゅにょらい)」で始まる、浄土真宗の門徒にとってなじみ深い「正信偈」に込められた親鸞聖人のお心を学び、味わうための入門書。本書をとおして言葉に込められた願いをあらためて確かめることができます。



真宗新書

◆歎異抄の輝き——唯円が出遇った親鸞

小野蓮明著・新書判・179頁・968円〈東本願寺出版〉

親鸞聖人の滅後、その教えが人びとの間で誤って受け伝えられていることを歎いた弟子・唯円が、自らのいのちとして、輝き・生き続ける師の言葉を記した珠玉の書『歎異抄』。いったい人びとは何に迷い、そこに聖人はどのような教えを遺したのか……。『歎異抄』全18条の全文を掲載し、各条の要を丁寧ひもといていく一冊。



◆澤田秀丸 最後の法話

澤田秀丸講述・A5判・53頁・220円〈土居坊清澤寺〉

2022年7月・8月に自坊の定例法座で説いた浄土和讃法話、9月に八尾別院の聞法会で話された「楽に三種あり」の3つを収録。

現役の八尾別院輪番として生涯を終えた、故・澤田秀丸師最後の法話。



◆季刊せいてん No.141——2022冬の号

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・66頁・700円〈本願寺出版社〉

2023年、ご本山で「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をお迎えます。今回は、立教開宗(独自の教義を立てて一宗を開くこと)の根本聖典である『教行信証』のカタチに注目し、親鸞聖人の執筆にかけける熱意や当時のご様子、さらには『教行信証』を受け伝えてきた人々の思いに迫ります。



◆念仏申さるべし——四種法話

藤枝宏壽著・四六判・295頁・2,750円〈永田文昌堂〉

毎月初めに有縁の門信徒に送られる「揭示法語」、エッセイ風の法話「心のしおり」、やや専門的な法話「群萌」、口述の法話・講演をほぼそのまま記録した「法話」の四部構成で79篇を収録。浄土真宗の教え、念仏への道程を分かりやすく伝える。



◆発菩提心論——浄土仏教思想の視座

武田龍精著・A5判・749頁・12,100円〈永田文昌堂〉

主に法然浄土仏教における発菩提心観の思想論的意義を中心に、大無量寿経、曇鸞往生論註、道綽安樂集、善導観経疏、源信往生要集、親鸞教行証文類に焦点を絞り、発菩提心の思想を考察する。



◆加賀一向一揆——鳥越城とともに終焉

西田谷 功著・A5判・118頁・1,650円〈北國新聞社〉

戦国時代に織田信長軍と最後まで戦った加賀一向一揆の山内衆と拠点となった鳥越城を分かりやすく解説しています。一向一揆の経過のほか鳥越城と二曲城の発掘状況や両城の概要、現在まで続く鳥越一向一揆まつりの変遷も分かります。前田氏の金沢城や織田信長の安土城、上杉謙信の春日山城など鳥越城にゆかりの武将の城跡案内もあり、一向一揆を幅広くとらえています。



◆現代日本語訳 浄土三部経

正木 晃著・四六判・304頁・2,750円〈春秋社〉

浄土宗・浄土真宗の基本経典である『阿弥陀経』『無量寿経』『観無量寿経』の三経を、難解な仏教用語を避けて誰でもわかるよう現代語訳。

巻末に、経典の成立過程や阿弥陀仏の起源、本願、信仰の実態についての詳細な解説も付す。



◆法然上人のご法語——④伝語・制誡編

浄土宗総合研究所編訳・文庫判・312頁・1,100円〈浄土宗出版〉

宗祖法然上人が説かれた「誰もが憂いなく生きるための道」お念仏。『法然上人のご法語』シリーズでは、その教えを人々に伝えられたご法語を現代語訳とともに収載。第四集では、高弟・聖光上人や源智上人が聞き伝えたご法語の要文や、「没後起請文」「送山門起請文」など弟子たちへ授けた訓戒を収載しました。



◆新装版 一紙小消息のころ

藤堂恭俊著・四六判・253頁・2,970円〈東方出版〉

法然上人のお手紙『一紙小消息』を、異本と対照し、いつ誰に宛てたものかを紹介。また、その原文と意識を対照させながら、宗門の教え、念佛信仰の実際について解説。念佛の道一筋に前進し、信仰を継続し深める法然上人の御教えに学ぶ。



◆日蓮誕生——いま甦る実像と闘争

江間浩人著・四六判・285頁・2,420円〈論創社〉

日蓮は貧しい漁民が役人の子とされる。ならば何故、幕府は一介の僧を二度も流罪にしたのか。政権が恐れたのは政治的影響力で、出生に関係する。論考は、門弟との関係を分析し、日蓮の父母に辿り着く。実は教団は將軍家に近かった。日蓮から見た鎌倉史はスリリングだ。信仰の原形も再現する。



同成社 中世史選書31

◆日蓮と世界認識

丹治正弘著・A5判・303頁・7,700円〈同成社〉

日本中世の社会と政治、宗教、対外関係等一切の事象を日蓮はいかに捉えたのか。厳密な史料批判と緻密な論証から新たな日蓮像を提示する。



◆禅の調べ

——はじめて唄う白隠禅師「坐禅和讃」

細川晋輔著・四六判・265頁・1,980円〈春秋社〉

「衆生本来仏なり 水と氷の如くにて」——七五調でつづられ、禅のエッセンスを親しみやすく伝える仮名法語、白隠禅師「坐禅和讃」。一見「わかりやすい」と称されながらも実は難解な44句を、さまざまな禅語や身近な話題とともに、あたたかに読み解いてゆく。禅画も多数収録。「坐禅入門」付き。



◆ちょっと止まって、気づいて生きる

——ZEN問答でいこう

村越英裕著・A5判・177頁・1,980円〈佼成出版社〉

「ZEN問答」とは、禅宗の禅問答を日常化した問答マニュアル！ピンチを乗り越え、よりゆたかな心になるための自問自答のプログラムです。禅問答（公案）の意味と実際を、奮闘した雲水時代に重ね、ドリルやクイズをまじえ楽しく描く。心と身体を調節するための指南書。



東哲叢書 仏典現代語訳シリーズⅣ

◆現代語訳 法華玄義釈籤(下一)

湛然述、菅野博史・松森秀幸訳注・A5判・633頁・7,590円
〈東洋哲学研究所〉

中国・天台宗の中興の祖、妙楽大師湛然は、天台三大部の『法華玄義』『法華文句』『摩訶止観』に注釈をつけ、智顗の教理の研究と普及に努めた。本書は湛らの注釈書『法華玄義釈籤』に詳細な注を付した初の現代語訳である。釈籤巻第十二から巻第十六を収める。



◆ブッダ臨終の説法 ④

——完訳 大般涅槃經

田上太秀著・四六判・446頁・3,080円〈大法輪閣〉

ブッダが臨終に際して最後の説法をしたとき、なにを言い残したかを記述した仏典「大般涅槃經」の翻訳書。全40巻のうち第31巻から第40巻までを、仏教用語の形に捕らわれず、大胆に現代語訳したもの。



◆スッタニパータ「犀の経典」を読む

アルボムッレ・スマナサーラ著・A5判・265頁・4,400円〈サンガ新社〉

解脱の境地を“覚者の生き方”としてうたった、初期仏教経典スッタニパータ収録の「犀の経典」を解説。悩み苦しみが生まれる原因を明らかにし、真の自由を獲得する道を指し示す。『パティパダー』連載を単行本化。



◆インド密教史

田中公明著・四六判・300頁・3,300円〈春秋社〉

文献資料に加え、最新の考古学的知見を取り入れ、インド密教の原初形態が現れてから、『大日経』『金剛頂経』の成立を経て、チベット・ネパール密教の源流であるインド後期密教に至るまで、その歴史的展開を一冊でたどれる格好の概説書。



◆新装版 チベット史

ロラン・デエ著、今枝由郎訳・四六判・489頁・6,600円〈春秋社〉

神話時代から現在まで、特に近現代に重点をおいた、激動のチベット通史。

仏教を精神的中核とする民族特有の世界観・歴史観をあます所なく語り尽くす画期的大著。待望の新装版！



中公新書 2725

◆奈良時代

——律令国家の黄金期と熾烈な権力闘争

木本好信著・新書判・243頁・946円〈中央公論新社〉

平城京への遷都で幕を開けた奈良時代。

奈良時代は天平文化が花開く一方で、政変が相次いだ。仏教を重んじ、遷都を繰り返した聖武天皇、その娘で道鏡の重用など混乱も招いた孝謙(称徳)天皇の治世を軸に、政治と社会が激動した時代を描く。



ちくまプリマー新書 415

◆宗教を「信じる」とはどういうことか

石川明人著・新書判・253頁・968円〈筑摩書房〉

科学の時代に神を信じることは出来るのだろうか？
この世に悪があることを宗教はどう説明するのか？
素朴な疑問を通して、宗教と人間のリアルに迫る。



◆お守りを読む

——日本人は何を願ってきたのか

鳥居本幸代著・四六判・182頁・2,200円〈春秋社〉

疫病の脅威から身を護る手だてとして誕生し、千年をこえる歴史のなかで日本人の精神を涵養してきたともいえるお守り。伝承や古典、史料にみえる多彩な様相からその起源と変遷をたどり、祈りと願いの文化を探る。



◆熊楠の神

——熊野異界と海人族伝説

戸矢 学著・四六判・291頁・1,980円〈方丈社〉

熊野こそは日本古来の神道に直結する「奇跡の信仰地」であり、縄文の精霊信仰が図らずも命脈を保っている稀有な世界である。熊野に耽溺した知の巨人・南方熊楠をとおして、神道の原型と本来の信仰の姿に迫る。



◆「日本心靈学会」研究

——霊術団体から学術出版への道

栗田英彦編・四六判・251頁・3,300円〈人文書院〉

霊術団体はいかにして人文系出版社へと姿を変えたのか。発見された機関紙『日本心靈』全号を紐解き、日本近代の宗教、学知、出版を総合的に捉え直す。折口信夫、西田直二郎の新発見資料も収録。年表、人名索引付き。

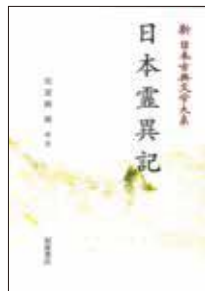


新日本古典文学大系30

◆日本霊異記【オンデマンド版】

出雲路 修校注・A5判・335頁・5,830円〈岩波書店〉

驚にさらわれた我が子とめぐりあえた父親の話、僧をあざける男の口がたちまちにしてゆがんでしまった話、盗み出された仏像が声をあげて泣き叫んだ話、人々のさまざまな心を通し、世で報いと仏の不思議な力のはたらき。『今昔物語集』をはじめ後代の作品に多大な影響をもたらした最も古い仏教説話集。



◆京都学派の教育思想

——歴史哲学と教育哲学の架橋

山田真由美著・A5判・258頁・5,500円〈勁草書房〉

京都学派の哲学者で、それぞれ戦前と戦後に教育哲学を論じた木村素衛と高坂正顕。1930年代の京都学派の歴史哲学を手掛かりに、あえて両者の教育思想を貫く共通性をとらえ、京都学派の思想の特質を記述する。それにより西田を含む京都学派の教育思想の特徴とその問題性を明らかにする。



龍谷叢書58

◆宗教者は病院で何ができるのか

——非信者へのケアの諸相

森田敬史・打本弘祐・山本佳世子編・A5判・264頁・2,970円〈勁草書房〉

宗教者は、特定の信仰を持たない／信仰を異にする患者のケアにどのように関わることができるのか。本書は、日本の医療施設で行われている宗教者による非信者に対する宗教的ケアの在り様やその意義について、調査研究をもとに具体的に論じることで、求められている宗教的ケアを示す。



◆宗教地政学から読み解くロシア原論

中田 考著・四六判・310頁・1,980円〈イースト・プレス〉

ロシアとウクライナの運命を変えた「タタールの軛」、プーチンにとってロシア正教が持つ意味、ロシアの「無法な行為」の源泉……。ロシアのウクライナ侵攻の本質を宗教の戦いとみなし、宗教地政学の視点から分析する。



◆統一協会＝ 勝共連合とは何か〈新装版〉

日隈威徳著・四六判・230頁・1,980円〈新日本出版社〉

統一協会の異常な行状の背景、狙いとは——彼らの“聖典”『原理講論』に踏み込んで解明した『勝共連合』を新装・再刊！ 宗教研究者で日本共産党中央委員だった著者による、宗教の衣をかぶった反共謀略集団の解明は今日でも生命力があります。旧版刊行後の動向も含むジャーナリスト・柿田睦夫氏の解説も必読です。



文春新書1394

◆統一教会 何が問題なのか

文藝春秋編・新書判・227頁・935円〈文藝春秋〉

巨額の献金、政治家との癒着、信者家族の悲劇、教義に込められた特異な世界観……。統一教会に対して人々が抱く疑問に、鈴木エイト氏、宮崎哲弥氏、島田裕巳氏ら第一線のジャーナリスト、論者が答える。『文藝春秋』特集記事を中心に新書化。



◆統一協会の何が問題か

——人を隷属させる伝道手法の実態

郷路征記著・A5判・98頁・880円〈花伝社〉

信者はなぜ家庭を崩壊させるような多額の献金をするのか？ その伝道・教化手法の違法性はどこにあるのか？ 統一協会と対峙した35年、見てきた被害者救済の道筋と、被害防止の方向性——。



◆統一協会 マインド・コントロールのすべて

郷路征記著・四六判・276頁・1,870円〈花伝社〉

元信者からの聞き取りと内部資料をもとに克明に再現された、統一協会の「伝道・教化課程」。未曾有の被害を生み出した統一協会問題の核心、人格を変えてしまう強力な技術と手法を明かす。統一協会の伝道手法そのものに違法性を見出した独自の法理論、その原点となった基本文献、待望の復刻！



◆カルトの花嫁

——宗教二世 洗脳から抜け出すまでの20年

冠木結心著・四六判・222頁・1,540円〈合同出版〉

洗脳が一人の女性の人生を壊す—統一教会信者となった母親の影響で信仰にのめりこみ、10代でカルトの罠に溺れていく。20年という歳月を、統一教会に翻弄された筆者の衝撃のノンフィクション手記。



◆非部落民の部落問題

朝治 武・黒川みどり・内田龍史編・四六判・273頁・2,750円
〈解放出版社〉

部落問題にかかわった行政・教育・法曹・社会運動関係者、ジャーナリストなど、近代以降に活躍した非部落民の人物と活動を紹介する。



◆2022年度版

全国のあいつぐ差別事件

部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会編
A5判・138頁・2,200円〈解放出版社〉

毎年度、被差別部落に関わる差別事件を集約している本書最新版。おおよそ2021年4月からの一年間に発生、発覚した事例について、主に『解放新聞』の中央版・各地版などから分野別に紹介、解説する。人権・部落問題学習・啓発に必携の一冊。巻末には「都府県別索引」付き。「全国のあいつぐ差別事件(概説)」を収録。



◆ゆかいな仏教

橋爪大三郎・大澤真幸著・文庫判・413頁・990円〈三笠書房〉

ももとの仏教は、自分の頭で考え、行動し、道を切り拓いていく、合理的で、前向きで、とても自由な宗教だった！ さあ、仏教の「真の姿」に肉薄する旅へ！『ふしぎなキリスト教』(新書大賞2012)の名コンビがおくる、仏教をめぐる知的刺激に満ちた痛快無比の対談本、待望の文庫化！「仏教のスピリット」を知れば知るほど勇気をもって、前向きに、ゆかいに生きられる！



◆ならば、マンガで説明しよう! 仏像

糸貫 律漫画、栗原菜海監修・A5判・175頁・1,540円〈Gakken〉

常識・教養として知っておきたい、「仏像」の見方の基本を、オールカラーのコマ割りマンガで解説。

毘盧舍那仏像、金剛力士像、阿修羅像、釈迦三尊像など、仏像を入り口にして、仏教の流れもわかる。

あまりにもわかりやすい、画期的な入門書。



隔週刊古寺行こう

◆妙心寺 龍安寺 19 ◆鞍馬寺 三千院 20

各A4変判・42頁・770円〈小学館〉

妙心寺 龍安寺 19……厳しい禅風を伝える日本最大の禅刹・妙心寺と、高潔な美を宿す石庭で知られる龍安寺は、ともに室町時代にルーツをもち、臨済宗妙心寺派に属する京都屈指の名刹です!

鞍馬寺 三千院 20……秘境感が漂う洛北の山懷で、悠久の歴史を刻んできた名刹を大特集! 山岳信仰の香り漂う鞍馬寺の毘沙門天や、浄土教と密教が融合した三千院・往生極楽院の天井壁画など、迫力ある仏像や寺宝を高精細画像でぜひ!



法 藏 館 書 店 新 着 雑 誌 案 内

◆同朋 1月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 西川貴教さん(アーティスト)
時間をかけて伝わってきたものから、
新たな気づきを。

◎特集 本尊ってなんだろう?

・親鸞万華鏡……ゲスト:松岡由香子さん
・東本願寺界限 今昔物語 ……「尾張弥」
ほか

◆大乘 1月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・釈教宗の随縁探訪……釈 徹宗
・ご機言!お寺の掲示板……江田智昭
・マンガ お釈迦さま物語「デーバダッタ」
……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる
・教えて!浄土真宗「真実証と還相回向」
……藤澤信照 ほか

特集1

法藏館書店 2022年・下半期売行ベスト20



1 地獄と浄土、どちらへ行きたいですか？

——私が私から解放される世界

瓜生 崇著・A5判・55頁・550円〈サンガ伝道叢書〉

出世作『さよなら親鸞会』以来のサンガ伝道叢書からの新刊。オンライン講座をはじめとした近年の著者の活躍ぶりを反映してか、他の著書とのまとめ買いも目立ちました。



2 親鸞 左訓・字訓・語訓辞典

3刷

田代孝編・四六判・218頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-7027-8〈法藏館〉

発売時の勢いを維持したまま、下半期もトップ3にランクイン。目的買いの方はもちろん、店頭で中身を見てレジに直行する方も多く、内容の充実度がうかがえます。



3 親鸞聖人と報恩講

名古屋御坊編集部編・A5判・70頁・800円〈真宗大谷派名古屋別院〉

真宗大谷派名古屋別院制作の報恩講向け冊子。わずか70ページながら、従来のものとはひと味違う切り口のとても濃い内容で、11月の御正忌報恩講の参拝者にも好評でした。

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
4	浄土真宗あったか年賀状 文例集	浄土真宗本願寺派 安芸教区佐伯奥組	方丈堂出版	330円
5	【ちくま学芸文庫】『歎異抄』講義	阿満利磨	筑摩書房	1,650円
6	親鸞に聞く 大無量寿經の意Ⅳ	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
7	同朋教団のかなしみ——「寺中」差別の現実から	同朋の会	阿吽社	1,650円
8	澤田秀丸 最後の法話	澤田秀丸	土居坊清澤寺	220円
9	寺、再起動——「ソビ寺」からの脱出!	星野 哲	法藏館	1,430円
10	お寺の掲示板 諸法無我	江田智昭	新潮社	1,100円
11	2022年安居本講 『正信念佛偈』講讀	本多弘之	東本願寺出版	4,400円
12	解説教行信証 下巻	真宗大谷派教学研究所編	東本願寺出版	4,180円
13	2022年安居本講 『親鸞聖人伝絵』考察	東館紹見	東本願寺出版	4,400円
14	【真宗文庫】親鸞の証明——「正信偈」のこころ	寺川俊昭、大河内了悟、廣瀬 晃、 一案典次、宮城 顕、岡瀬正雄	東本願寺出版	1,320円
15	ほんとうの幸せ——出遇い	三明智彰	越後量深学場	440円
16	お寺の掲示板	江田智昭	新潮社	1,100円
17	親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅱ	平野 修	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
18	親鸞伝の史実と伝承	草野顕之	法藏館	2,090円
19	阿弥陀經を読む——生きる道をたずねて	三浦真証	仏教教育出版	2,200円
20	赤光 3	福岡義朝	探究社	1,430円

特集2

法藏館書店 2022年・年間売行ベスト20



親鸞 左訓・字訓・語訓辞典

3刷

田代俊孝編・四六判・218頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-7027-8〈法藏館〉

「本当に便利！」と多くの方から絶賛の声をいただき、堂々の年間1位！ 今後は真宗系辞典のスタンダードの一つとなっていくでしょう。お聖教と一緒に読み破ってください！



地獄と浄土、どちらへ行きたいですか？

——私が私から解放される世界

瓜生 崇著・A5判・55頁・550円〈サンガ伝道叢書〉

ご寺院様を中心としたまとめ買いに支えられ、年間ベストでも2位。昨今のカルト問題報道に伴い、弊社からの著書『なぜ人はカルトに惹かれるのか』も運動して売れています。



解説教行信証 下巻

真宗大谷派教学研究編・A5判・360頁・4,180円〈東本願寺出版〉

上巻から10年ぶりの刊行ということで、待ちわびていた方を中心に幅広く売れました。書き下し文と現代語訳が対比できるレイアウトも好評。因みに上巻は品切れとのことです。



順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
4	お寺の掲示板 諸法無我	江田智昭	新潮社	1,100円
5	親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅱ	平野 修	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
6	親鸞聖人と報恩講	名古屋坊編集部編	真宗大谷派 名古屋別院	800円
7	親鸞に聞く 大無量寿經の意Ⅳ	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
8	ねえ、お坊さん教えてよ 死んだらどうなるの？	岡崎秀麿・富島信海	本願寺出版社	1,760円
9	阿弥陀經を読む——生きる道をたずねて	三浦真証	仏教教育出版	2,200円
10	ねえ、お坊さん教えてよ どうしてお葬式をするの？	岡崎秀麿・富島信海	本願寺出版社	1,760円
11	真宗と現代葬儀——「葬儀」と「死」のゆくえ	蒲池勢至	法藏館	1,430円
12	親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅰ	平野 修	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
13	浄土真宗あったか年賀状 文例集	浄土真宗本願寺派 安芸教区佐伯奥組	方丈堂出版	330円
14	今日の宗教の可能性	大峯 顯	百華苑	1,320円
15	溶け合う世界へ——南無阿弥陀仏のすくい2	瓜生 崇	響流書房	110円
16	浄土真宗とは何か——『教行信証』のころ	金子大榮	東本願寺出版	825円
17	【ちくま学芸文庫】『歎異抄』講義	阿満利磨	筑摩書房	1,650円
18	お寺の掲示板	江田智昭	新潮社	1,100円
19	同朋教団のかなしみ——「寺中」差別の現実から	同朋の会	阿吽社	1,650円
20	親鸞伝の史実と伝承	草野顕之	法藏館	2,090円

特集3 『幡谷明講話集』(全7巻) 特価予約受付中!

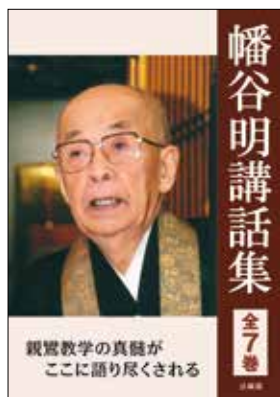
2021年11月にご逝去された大谷大学名誉教授・幡谷明先生の講義・講話が、書籍化されることになりました。“論註研究の第一人者”とも言われた深い思索に裏打ちされた浄土論註講義など、親鸞教学の思想解明に多くの業績を残された先生の貴重な講義・講話を収めた集大成です。

現在、編者の刊行会が、特別に期間限定の割引価格で予約を受付中!

『幡谷明講話集』 全7巻

A5判/上製力バー装/各巻平均460頁予定

- 第1巻 浄土文類聚鈔講義
- 第2巻 文類偈講義
- 第3巻 唯信鈔文意講義
- 第4巻 浄土三経往生文類講義
- 第5・6巻 浄土論註講義 上・下
- 第7巻 講話集 帰るべき世界



📄 パンフレット配付中

刊行会特別割引セット価格 **24,640円**(税込・分売不可)

※一般書店では、特価のご注文はできませんのでご注意ください。

特価予約は、専用注文書でのお申し込みが必要です。

専用注文書やパンフレットをご希望の方は、下記までお問い合わせください。

[連絡先] 幡谷明講話集刊行会事務局

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 法蔵館内

TEL 075-343-0458

お知らせ

2023年新春プレゼント！

2023年1月5日より、法蔵館書店店頭でご購入くださったお客様に、先着で「ほのぼのカレンダー2023年版」をプレゼントいたします。

先着
30名様



季節感のある絵で見飽きない、
月々の言葉がいい、使いやすい、と
好評発売中のカレンダーです。
まずは気軽にご来店いただき、
カレンダーをゲットしてください！

「法蔵館文庫」3周年記念

オリジナルトートバッグ

3周年記念グッズとして、法蔵館文庫の
花喰鳥のロゴをあしらったトートバッグ
を作りました！

色はホワイトとグリーンの2種類。

このトートバッグを法蔵館書店にて法
蔵館文庫を3点以上お買い上げの方
にプレゼントいたします。

本体/約W340×H260×D100mm

持ち手/約W25×H470mm



※トートバッグのプレゼントは店頭でのお買い上げに限らせていただきます。

通販でのご購入は対象外となりますので、悪しからずご了承ください。

現在までに発売された文庫43点を掲載した
冊子もできました！
店頭で配布中ですので、ぜひ入手してください！



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(12月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	浄土真宗あったか年賀状 文例集	浄土真宗本願寺派 安芸教区佐伯奥組編	方丈堂出版	330円
2	同朋教団のかなしみ——「寺中」差別の実実から	同朋の会編	阿吽社	1,650円
3	澤田秀丸 最後の法話	澤田秀丸	土居坊清澤寺	220円
4	寺、再起動——「ソソビ寺」からの脱出!	星野 哲	法藏館	1,430円
5	親鸞伝の史実と伝承	草野顕之	法藏館	2,090円
6	親鸞 左訓・字訓・語訓辞典 3刷	田代俊孝編	法藏館	3,300円
7	【ちくま学芸文庫】『歎異抄』講義	阿満利磨	筑摩書房	1,650円
8	【真宗文庫】親鸞の証明——「正信偈」のころ	寺川俊昭、大河内了悟、廣瀬 晃、 一乗典次、宮城 顕、両瀬正雄	東本願寺出版	1,320円
9	親鸞聖人と報恩講	名古屋御坊編集部編	真宗大谷派 名古屋別院	800円
10	大悲無倦常照我——多屋頼俊先生 三十三回忌法要・記念誌	石橋義秀編著	松香文庫	3,300円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

- ◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。
- ◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料
- ◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

詳しくはここをクリック

法藏館書店 友の会 会員証



法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00
祝 日: 10:30～18:00
(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中〜!